

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成24年9月13日 (2012.9.13)

【公表番号】特表2009-510250(P2009-510250A)

【公表日】平成21年3月12日 (2009.3.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-010

【出願番号】特願2008-534518(P2008-534518)

【国際特許分類】

C 0 8 J 3/24 (2006.01)

C 0 8 L 23/16 (2006.01)

C 0 8 K 5/14 (2006.01)

C 0 8 K 5/103 (2006.01)

C 0 8 K 3/34 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 L 23/12 (2006.01)

【F I】

C 0 8 J 3/24 C E Q Z

C 0 8 L 23/16

C 0 8 K 5/14

C 0 8 K 5/103

C 0 8 K 3/34

C 0 8 L 101/00

C 0 8 L 23/12

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年7月26日 (2012.7.26)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

熱可塑性加硫ゴムの製造方法であって、

ポリプロピレンとのブレンド物中のゴムを連続的に動的加硫し、

前記動的加硫を反応押出機中においてフリーラジカル硬化剤と助剤含浸担体とを含有する硬化系をポンプ装置で供給して行い、

前記助剤含浸担体が、多官能アクリレート助剤と、多官能メタクリレート助剤と、多官能アクリレート助剤および多官能メタクリレート助剤の両者とのいずれかを含有する製造方法。

【請求項 2】

前記フリーラジカル硬化剤が有機過酸化物を含む請求項 1 に記載の製造方法。

【請求項 3】

前記有機過酸化物が、2, 5-ジメチル-2, 5-ジ (t-ブチルペルオキシ) ヘキサンを含む請求項 1 または請求項 2 に記載の製造方法。

【請求項 4】

前記ゴムが、エチレンと、少なくとも 1 種の α -オレフィンと、任意成分として少なくとも 1 種のジエンモノマとから成る弾性共重合体を含む請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載の製造方法。

【請求項 5】

前記ジエンモノマが 5-ビニル-2-ノルボルネンを含み、前記連続的に動的加硫する工程において、23℃のシクロヘキサンで抽出されるゴムが10質量%を超えない範囲でゴムを硬化させる請求項4に記載の製造方法。

【請求項 6】

前記ジエンモノマが 5-ビニル-2-ノルボルネンを含み、前記連続的に動的加硫する工程において、23℃のシクロヘキサンで抽出されるゴムが5質量%を超えない範囲でゴムを硬化させる請求項4に記載の製造方法。

【請求項 7】

前記多官能アクリレート助剤が、ジエチレングリコールジアクリレート、トリメチロールプロパントリアクリレート (TMPTA)、エトキシ化されたトリメチロールプロパントリアクリレート、プロポキシ化されたトリメチロールプロパントリアクリレート、プロポキシ化されたグリセロールトリアクリレート、ペンタエリスリトールトリアクリレート、ビストリメチロールプロパンテトラアクリレート、ペンタエリスリトールテトラアクリレート、エトキシ化されたペンタエリスリトールテトラアクリレート、エトキシ化されたペンタエリスリトールトリアクリレート、シクロヘキサジメタノールジアクリレート、ジトリメチロールプロパンテトラアクリレート、およびこれらの混合物からなる群から選ばれる請求項1から請求項6のいずれか1項に記載の製造方法。

【請求項 8】

前記多官能性メタクリレートが、トリメチロールプロパントリメタクリレート (TMPTMA)、エチレングリコールジメタクリレート、ブタンジオールジメタクリレート、ブチレングリコールジメタクリレート、ジエチレングリコールジメタクリレート、ポリエチレングリコールジメタクリレート、アリルメタクリレート、およびこれらの混合物からなる群から選ばれる請求項1から請求項7のいずれか1項に記載の製造方法。

【請求項 9】

前記助剤含浸担体が、液状助剤と不活性担体との均質ブレンドを含む請求項1から請求項8のいずれか1項に記載の製造方法。

【請求項 10】

前記不活性担体が、シリカ、珪酸塩、および両者の混合物のいずれかである請求項9に記載の製造方法。

【請求項 11】

前記シリカが、沈降シリカ、アモルファスフェュームドシリカ、フェュームドシリカ、シリカゲル、およびこれらの混合物のいずれかである請求項10に記載の製造方法。

【請求項 12】

前記不活性担体が、テトラカルシウムアルミノ鉄酸塩、テトラカルシウム珪酸塩、ジカルシウム珪酸塩、カルシウムメタ珪酸塩、およびこれらの混合物から成る群から選択される請求項9に記載の製造方法。

【請求項 13】

前記不活性担体が、カオリナイト、モンモリロナイト、アタパルサイト (atapulgitite)、イライト、ベントナイト、ハロイサイト、タルカム、ソープストーン、ステアタイト、セロライト (cerolite)、マグネシウムタルク、ステアタイト塊、およびこれらの混合物から成る群から選択される請求項9に記載の製造方法。

【請求項 14】

前記助剤含浸担体が、助剤含浸担体の総質量に対し25質量%から80質量%の助剤を含む請求項9に記載の製造方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0056

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 5 6 】

助剤と担体との組合せと言うときは、助剤が含浸された助剤含浸担体、あるいは液体が分散した粉体を意味する。いくつかの実施態様では、助剤と担体との組合せには、担体と液状の助剤との物理的なブレンド物が含まれる。別の実施態様では、助剤と担体は均質に混合され、自由に流動する粉体と成る。